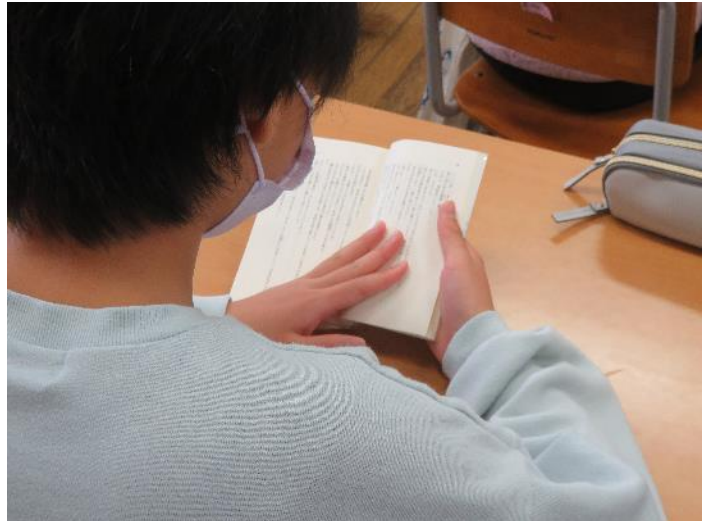




令和3年度 No.28



### 「文庫本」

このサイズにぎっしりの文字を読みふける6年生。小さい子ではこうはいかない。大人になりすぎても、別の意味でこうはいかない。

(2021.12.09 朝読書の時間)

### 『風の吹き返し』（当世北条小事情）

## 本でつながる -読書特集-

私の今の読書傾向は本の内容より人とつながりの方を重視しています。自分が読みたい本よりは、人に読んでほしい本を選書するという事です。中心となる対象は中学生です。自分の読んだ本を中学校の図書館に寄贈するようにしています。それを中学生が手に取ってくれるかもしれない、と思いながら中学生にうける本を選ぶのです。あまり自分の癖が出すぎないように、本屋大賞の候補作品とか芥川・直木両賞で話題になったもの、あとは、中学校の国語の教科書に紹介されているものから選ぶことが多いです。芸能人が描いたようなキャッチーなものを選ぶこともあります。どんな動機でもいいから子どもたちが図書館に足を運んでくれればいいのです。

中学校の司書の先生からは「小学校の図書館に置かれたらどうですか？」とも言われました。もちろん絵本など、いくらかうちの図書館にも寄贈しました。それとその時はこう答えました。「うちの子たちも多くはやがては北条中に来ます。ですから、ここに置いてもらえば北条小の子のためにもなるんです。」地味ですが小中一貫教育、一体型CSの在り方の一つだと密かに思っています。

絵や写真と違って、本の内容を確認するには時間がかかります。学校図書館は、話



中学生による読み聞かせ

題の新刊本を購入しようにも子どもたちにふさわしくない内容がありはしないか気にします。実際に全体としては良い作品でも、気になる描写が入っていることも多いものです。そのフィルター役になるという意味もあります。「本を読む」というボランティアです。自分が楽しんで、読んだ後でも本が無駄にならず、場合によって人のお役に立てて、感謝さえしていただく。何より北条の子どもたちの成長に微力ながら貢献できる。今、はまっている趣味がこれです。

Love & Peace 笠見 隆志

## 日本海新聞の取材を受けました。～北条小の読書推進活動～



座談会の様子

毎年行われている『とっとり読書絵てがみ・感想文コンクール』に連動した「日本海新聞」の紙上特集「わたしたち・ぼくたちの図書館」の取材を12月2日(木)に受けました。前後期の図書委員さんや、普段からたくさん読書をしている児童など8名による座談会です。

この内容については**12月20日(月)**に見開きカラーページに掲載されるとのことで、ご紹介しておきます。

今回の「北条の風」はこれに合わせて読書特集としました。取材の時にも話をした先月の読書週間を初めとした北条小の読書推進についてまとめてみました。

### ファミリー読書

11月の読書週間で取り組んだことの一つに「ファミリー読書」があります。子どもたちが読んだ本をおうちの方にも読んでいただき、家族で同じ紙に感想を書くというものです。お忙しい中、この企画に応募してくださった方もたくさんあり、図書室に向かう廊下に掲示しています。本を通じての家族の心のつながりがとてもあたたかいので、高学年の保護者の方の感想をいくつかこの紙面でも紹介したいと思います。

#### ◆6年女子(母) 読んだ本:「小公女セーラ」

小公女セーラは私も子どもの頃読んだり、テレビで見たりしており、同じ物語を娘も知ってくれて嬉しかったです。つらく悲しい場面が多いですが、心優しいセーラのようになりたいと思ってくると嬉しいです。

#### ◆5年女子(母) 読んだ本:「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂2 ミュージックスナック」

この本を読んであらためて正直であること、努力の大切なことを感じました。男の子は「練習をしなくても勝手に指が動くから大丈夫」と思っていたら実際には動かず、大変怖い思いをしました。最後にはスナックに頼らず、自分で練習する道を選んだところに感動しました。余談ですが、忙しそうにしていたら〇〇が声に出して本を全部読んでくれました。それについても感動しました。

#### ◆6年女子(母) 読んだ本「ひめゆり」

私が小学生の頃は祖母や曾祖母から直接戦争の体験を聞くことができましたが、時代が流れ戦争の語り部が少なくなり、過去の出来事とされつつあります。学校で教わり、子どもたちが自ら戦争の本を選んで学び、考えるよい機会になったと思います。

皆さんのご家庭でも「ファミリー読書」いかがですか？

### 読書週間献立



給食室前の掲示

読書週間には、子どもたちにもおなじみの絵本の中に出てくる食事が給食の献立として登場しました。例えば「ぐりとぐらとすみれちゃん」に出てくるコロック。「こまったさんのハンバーグ」のハンバーグ。「ひみつのフライパン」のおうさまのオムレツに、おうさまの野菜サラダなど。楽しくおいしく食べました。食事中に「この本読んだよ。」「こんなお話だったよ。」という会話を弾ませられないのがちょっと残念なところです。



こまったさんのハンバーグの日の給食

### 読み聞かせ

時々紹介はしていますが、本校の読み聞かせは多種多様。読み聞かせボランティアの「つくしんぼ」さんに定期的においでいただきますし、中学生も来てくれます。先月の読書週間には担任の先生が別のクラスに言って読みきかせをするという企画もしました。そして、前松本町長さんにもよくおいでいただきました。子どもたちはとても楽しみにしています。



その時見せてくれた月の本

先日、朝の図書館で出会った子が、「月の本を借りました。」と教えてくれました。そして、その本を借りた理由をこう続けます。「だって、お母さんが今度、月に行くから・・・」。意表を突かれて面食らっているうちにその子は教室へと帰ってしまいましたが、ひょっとしてその子のお母様はかぐや姫さんだったのでしょうか。それとも、あの社長さんのお知り合い？ (K)

